別紙-3①

[記入方法] 色付き部分の各セルをクリックして、該当項目を選択する。

考查項目	工 種	a	b	С	d	e e
	I. 施工管理	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
2. 施工状况	1. 施工管理	◇ 設計図書の照査を行っているこ ◇ 施工計画書と現場施工方法が一 ◇ 工事材料(製品を含む)の確認 ◇ 見本または工事記録写真、適切の ◇ 建設副産物の処理やリサイク払い ◇ 施工体制台帳、施工を体系図が整理と、体系と現場の施工体制力を変更する必提出したもの。 ◇ 施工計画書が反映を理を、した。 ◇ 施工計画書が反映を理を、。適切を用き、の管理基準を設定し、適切をで変更を、その他 ① 当該「評価対象項目」のの② 削除項目のある場合は削。③ 評価値(%)=(ことが確認できる。 一致している。 思及び資料の整理を行っている。 と理に大がみられる。 二行っている。 一个の取り組みを適切に行っている。 を構され、作業分担の範囲が確認できる。 と構され、作業分担の範囲が確認当該工 いる。 とであれ、所定の項目が記載されている。 こだっている。 こだっている。 こだっている。 のに管理している。	る。 事着手前に変更計画書を とともに、設計図書及び とともに、設計図書及び 率(%)計算の値で評価する。 数		第っている□ 施工管理について、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。

(検 杳 職 員)

考査項目		a	a '	b	b '	С	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ I. 出来形	測定項目基準に値がのばらつ 0%以内	形の測定が、必要な について所定の測定 について所定の測定 づき行われており、 規格値を構し、そ きが規格値の概ね5 で、下記の「評定対 ひ4項目以上が該当	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の2項目以上が該当する。	□ 出来形の測定方法又は 測定値が不適切であったた め、監督職員が文書で指示 を行い改善された。	□ 監督職員が、契約書第 18条第1項に基づく改造 請求又は、同条第2項に基 づく破壊検査を行った。 □ 出来形の測定方法又は 測定値が不適切であったた め、検査職員が修補指示を 行った。	
	□ 出来			※上記項目に、該当があれば d評価	※上記項目に、該当があれば e評価			
				② 出来	形とは、設計図書に示された工 形管理とは、「土木工事施工管3 格値に基づく形状寸法を確保する	理基準」の測定項目、測定基準		
	設備	a	a '	b	b '	С	d	e
	工事	優れている [評価対象項目] 出来形管理図また 出来形削管理とに対し 自社の管理基準管理 (やや劣っている □ 出来形の測定方法又は 測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 ※上記項目に、該当があれば d評価	第っている □ 監督職員が、契約書第 18条第1項に基づく改造 請求又は、同条第2項に基 づく破壊検査を行った。 □ 出来形の測定方法又は 測定値が不適切であったた め、検査職員が修補指示を 行った。 ※上記項目に、該当があれば e 評価				
	建築工事	該当項目が70%以」 該当項目が60%以」 該当項目が60%未清 (評価対象項目) 出来形管理図また。 出来形測理理定におい。 自社の管理基準管理 出来形の性能、材 との他 理由: 判断基準	上90%未満・・・・ a ' 上80%未満・・・・ b 上70%以下・・・・ b ' 満・・・・・ c には出来形管理表が、適切にまといて、不可視部分の出来形が写った。 を設定し、適切に管理している。 理基準等により適切に管理していけ法が設計値(設計図書)を満足し、 後能が設計値(設計図書)を満足し	② 削除項目のある場合は削除 ③ 評価値 (%) = (④ なお、削除後の評価対象項 められている。 で的確に判断できる。 る。 し、バラツキが少ない。 、バラツキが少ない。	5ち、評価対象外の項目は削除す余後の評価項目数を母数として、)評価数/() 対象評価項 頁目数が2項目以下の場合は、c	比率(%)計算の値で評価する。 目数 評価とする。	測定値が不適切であったた	□ 監督職員が、契約書第 18条第1項に基づく改造 請求又は、同条第2項に基 づく破壊検査を行った。 □ 出来形の測定方法ったた め、検査職員が修補指示を 行った。 ※上記項目に、該当があれば e評価
		該当項目が80%以」 該当項目が70%以」 該当項目が60%以」	上90%未満 ・・・ a ' 上80%未満 ・・・ b ト70%以下・・・ b '	② 削除項目のある場合は削除③ 評価値(%)=(5ち、評価対象外の項目は削除す 6後の評価項目数を母数として、)評価数/()対象評価項 頁目数が2項目以下の場合は、c	比率(%)計算の値で評価する。 目数		

考査項目		a	a '	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	コンクリート 構造物工事	「関連基準、土オ ※ばらつきの判断 「評価対象項目」 □ 設計図書に基づく 対策等)が確認でき □ コンクリート打設時の必 □ コンクリート供託体が当	さる。 公要な供試体を採取し、強度・ス 4該現場の供試体であることが	会 > 骨材粒径・塩基総量アルカリ骨材 行っている(寒中及び暑中コンクリート	は測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で指 示を行い改善された。	□ 監督職員が、契約書第1 8条第1項に基づく改造請求 又は、同条第2項に基づく破 壊検査を行った。 □ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であったた め、検査職員が修補指示を 行った。		
		□ 型枠、支保工の取 □ 鉄筋の規格がネッシ □ 鉄筋の引っ張り亞 □ 大門・打設ま・加コ □ 圧接作業にあたり □ スペーサーの材質が適	り外し時のコンパリート強度を適正に一トで確認できる。 金度・曲げ強度が試験値で確認す 会験筋の保管管理が適正であるこ こが適正であることが確認できる。 、作業員の技量確認を行ってい 適正で、品質が確認できる。 ご置し、鉄筋のかぶりを確保して	できる。 ことが確認できる。 る。 いる。	判断基準	ばらつきで判断可能	d評価	※上記項目に、該当があれば e 評価
		② 削除項目のある場③ 評価値(%)④ なお、削除後の評□ クラックがある場合、	= () 評価数/()対価対象項目数が2項目以下の場	(として、比率(%)計算の値で評価する 象評価項目数	値 60%以上760%未満	50%以下80%以下 80% a a' b 0 %未満 a' b 5 %未満 b b' c		
	土工事 (切土、盛土、 堤防等工事)	「関連基準、土オ ※ばらつきの判断 〔評価対象項目〕 □ 雨水による崩壊か □ 段切り等が施工前 □ 置換えのための指 □ 締固めを適切な名 □ 筋芝または種子呼	て工事施工管理基準、その他計 行は、別紙−4参照。 が起こらないように、排水対策を 前に適切に行われている。 書削を行うにあたり、掘削面以下 条件で施工している。 大付等を適切に行っている。 う固め等の処理が適正に行っている。 うしている。	を実施している。	b' る。<判断基準参照	c 33.>	測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を 行い改善された。	e □ 監督職員が、契約書第18条第1項に基づく改造請求又は、同条第2項に基づく破壊検査を行った。□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 ※上記項目に、該当があればe評価
		② 削除項目のある場③ 評価値(%)	目」のうち、評価対象外の項目 合は削除後の評価項目数を母数 =()評価数/()を 価対象項目数が2項目以下の場	なとして、比率(%)計算の値で評価する †象評価項目数	判断基準 90%以上 75%以上9 60%以上7 60%未満	0 %未満 a' b 5 %未満 b b'		

(検 査 職 員)

考査項目		a	a '	b	b '	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	護岸・根固・ 水制工事	〔関連基準、土木 ※ばらつきの判断	工事施工管理基準、その他	目の履行状況(評価値)から判断する。 設計図書に定められた試験〕	<判断基準参照	>	は測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で指	□ 監督職員が、契約書第1 8条第1項に基づく改造請求 又は、同条第2項に基づく破 壊検査を行った。
Ⅱ.品 質		□ 緑化ブロック、石 □ 護岸工の端部や曲 □ 遮水シートが所定	ンクリートの充てんまたは締匪	心理が適切である。	裏込材の吸い出し	の恐れがない。		ない見なりつん。 一品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を 行った。
				g生が適切である。 車結またはかみ合わせが適切である。			※上記項目に、該当があれば d評価	※上記項目に、該当があれば e 評価
				ſ	判断基準	ばらつきで判断可能 50%以下80%以下 80%		
		② 削除項目のある場合 ③ 評価値(%)=	目」のうち、評価対象外の項目 合は削除後の評価項目数を母数 = () 評価数/ () 対 西対象項目数が2項目以下の場	として、比率(%)計算の値で評価する。 象評価項目数	評 90%以上 75%以上9 60%以上7 60%未満	a a' b 0%未満 a' b b	b ' b ' c	
			等にクラックがある場合、進行性又 ιば c 評価とする。	は有害なクラックはなく、発生したクラックには適	切な処置を行って	いる。 ※別紙-4を参照		
	鋼橋工事 (RC床版工事 はコンクリート構造物 に準ずる)	「関連基準、土木 ※ばらつきの判断 「評価対象項目〕 【工場製作関係】 □ 鋼材の員数照合が: □ 溶接作業にあたり	工事施工管理基準、その他)で確認されている。 いる。	b' <判断基準参照	c >	測定値が不適切であったた	e □ 監督職員が、契約書第18条第1項に基づく改造請求又は、同条第2項に基づく破壊検査を行った。 □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		□ 塗料の空缶管理が 【架設関係】 □ ボルトの締付確認が □ ボルトの締付機、測	、写真等で確実に空であること 実施され、適切に記録が保管さ 定機器のキャリブレーションを実施して	されている。			※上記項目に、該当があれば d評価	※上記項目に、該当があれば e 評価
					判断基準	ばらつきで判断可能 50%以下80%以下 80%		
		② 削除項目のある場合③ 評価値(%)=	目」のうち、評価対象外の項目 合は削除後の評価項目数を母数 = () 評価数/() 対 面対象項目数が2項目以下の場	として、比率(%)計算の値で評価する。 象評価項目数	評	a a' 1 0 %未満 a' b	b b b c c c c	

(検 杳 職 員) 考查項目 3. 出来形及び 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 監督職員が、契約書第 砂防構造物工事 □ 品質関係の測定方法又 出来ばえ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] は測定値が不適切であった 18条第1項に基づく改造 ため、監督職員が文書で指 請求又は、同条第2項に基 地すべり防止工事 ※ばらつきの判断は、別紙-4参照。 示を行い改善された。 づく破壊検査を行った。 (集水井工事を 「評価対象項目〕 □ 品質関係の測定方法又 【共涌】 Ⅱ.品 質 含まり) は測定値が不適切であった □ 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認で ため、検査職員が修補指示 きる。 を行った。 □ コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 □ コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 □ 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている (寒中及び暑中コンク ※上記項目に、該当があれば ※上記項目に、該当があれば リート等を含む) d 評価 e 評価 □ 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度を適正に管理されている。 □ 地山との取り合わせが適切に行われている。 □ 鉄筋または鋼材の規格がミルシートで確認できる。 【砂防構造物工事に適用】 □ コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 □ 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 □ 施工基面が平滑に仕上げられている。 □ アンカーが設計図書どおり施工してあることが確認できる。 □ ボトトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 □ ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施している。 【地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸工事を含む)】 □ アンカーが設計図書どおり施工してあることが確認できる。 □ ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮し、施工を行っている。 □ ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工を行っている。 □ 集・排水ボーリング エの方向、角度が適正となるように施工上の配慮がなされている。 □ 抑止杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。 □ 抑止杭の打ち止め管理方法又は場所打ち杭の施行管理方法が整備されかつ記録が確認できる。 □ 抑止杭の偏心管理が確認できる。 □ 溶接の品質管理に関して仕様書等に定められた事項が確認できる。 □ 鉄線籠工等の詰石が隙間の無いよう実施されていることが確認できる。 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=()評価数/()対象評価項目数 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、c評価とする。 判断基準 ばらつきで判断可能 ばらつきで 50%以下80%以下 80%超 判断不可能 90%以上 a ' b b 75%以上90%未満 h b ' а' b 60%以上75%未満 b 60%未満 【共 通】 □ クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。 ※別紙-4を参照 ※ 上記該当あれば c 評価とする。

考査項目			a	a '	b		b '	С	d	е
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	舗工	装事	〔関連基準、土木 ※ばらつきの判断 〔評価対象項目〕 【路床・路盤工関係】 □ 施工に先立ち、C	、工事施工管理基準、その作 所は、別紙ー4参照。	頁目の履行状況(評価値)か 也設計図書に定められた試験) の確認資料収集を行っている。	- 1 4.77 7 - 0	<判断基準参照	!>	は測定値が不適切であった	□ 監督職員が、契約書第1 8条第1項に基づく改造請求 又は、同条第2項に基づく破 壊検査を行った。 □ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適員が修補指示を 行った。
			工事は除く) □ 混合物の温度管理 □ 舗設後、直ちには □ 舗装の各層の継き □ 目地の処理が仕様	型が、プラント出荷時・現場到着 共用する必要のある現場で、2 ぎ目が仕様書に定められた数値 検書に定められた通りであるこ	時・舗設時等で整理・記録され を通開放を適切に行っている。 直以上ずらしている。	ている。	認できる。 (アススト	rが混合物の事前審査制度の適用	※上記項目に、該当があれば d評価	※上記項目に、該当があれば e 評価
			きる。	必要な供試体を採取し、強度 当該現場の供試体であることが 身条件に適した運搬時間,打設 保管管理が適正であることが 目」のうち、評価対象外の項	スランプ・空気量等が確認できる。 が確認できる。 方法、養生方法等を適切に行って 確認できる。 [目は削除する。	ている。	判断基準	,	0%超 判断不可能 b b	
	海		③ 評価値 (%)	合は削除後の評価項目数を括 = () 評価数/() 価対象項目数が2項目以下の a,		*評価する。 	評 75%以上9 60%以上7 60%未満	90%未満 a' b 75%未満 b b' c c	b' b' c c c c c d	
	万	事	[関連基準、土オ ※ばらつきの判例 「評価対象項目」□ 型枠、支保工の取□ 気象条件に適した:□ コンクリートプロ□ コンクリートプロ□ コンクリートプロ	吉果のばらつきと評価対象	項目の履行状況(評価値)か 也設計図書に定められた試験 れている。 れている。 あることが確認できる。 度確認を行っている。 の恐れがない。		<判断基準参照		□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であったた め、監督職員が文書で指示を 一行い改善された。	□ 監督職員が、契約書第18 条第1項に基づく改造請求又 は、同条第2項に基づく破壊検 査を行った。 □ 品質関係の測定方法又は測 定値が不適切であったため、検 査職員が修補指示を行った。 ※上記項目に、該当があれば e 評価
			② 削除項目のある場 ③ 評価値 (%)	= () 評価数/ () 価対象項目数が2項目以下の ばらつきで判断可 50%以下80%以下 80% は下	数として、比率(%)計算の値で対象評価項目数 対象部価項目数 り場合は、c評価とする。 	₹評価する。				

考査項目		a	a '	b	b '	С	d	е
	法面·落石防止 工事	〔関連基準、 ※ばらつきの〕 〔評価対象項 【共通】 □ 施工基面が平滑 【種子吹付工、客 □ 土壌試験を実施	験結果のばらつきと評価対象項目 土木工事施工管理基準、その他語 判断は、別紙-4参照。 目〕 骨に仕上げられている。 土吹付工、厚層基材吹付工関係】 をし、施工に反映している。	設計図書に定められた試験			□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で指 示を行い改善された。	□ 監督職員が、契約書第 18条第1項に基づく改造 請求又は、同条第2項に基 づく破壊検査を行った。 □ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切であった ため、検査職員が修補指示 を行った。
		□ 吹付け厚さが地	が10cm以上確保されている。 匀等である。 よって、必要な場合2層以上に分け	て行っているのが確認できる。			※上記項目に、該当があれば d評価	※上記項目に、該当があれば e評価
		□ 吹付け厚さがめ□ 供試体が当該	畐が10cm以上確保されている。	3 .				
		□ 現場養生が適切 □ 供試体が当該到 □ 枠内に空隙がた □ 層間にはく離れ	係】 L長さが確認できる。 別に行われている。 見場の供試体であることが確認できないことが確認できないことが確認できる。 がないことが確認できる。 が適切に処理されている。	ప .				
		□ 材料の規格が □ ボルトや連結会 □ アンカーや網の	客石防止柵関係】 合わせが適切に行われている。 ミルシート等で確認できる。 仓具の締付が適切に施行されている。 の重ね合わせが設計書どおり施行さ 適切に行われている。					
		② 削除項目のあ③ 評価値(50%以下80%以下 80%超 a a' b)%未満 a' b b'	女として、比率(%)計算の値で 対象評価項目数	で評価する。			

考査項目		a	a '	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び 出来ばえ Ⅱ. 品 質	基礎工事 及び 地盤改良工事	□ 品質関係の試験系 〔関連基準、土オ ※ばらつきの判態 〔評価対象項目〕 【杭関係 (コンクリート・身 □ 杭に損傷及び補能	は測定値が不適切であった	□ 監督職員が、契約書第1 8条第1項に基づく改造請求 又は、同条第2項に基づく破 壊検査を行った。 □ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であったた				
		□ 杭の打止め管理力 □ 水平度、安全度、 □ 溶接の品質管理は □ 場所打杭について □ 掘削深度、排出コ □ ライナープレート	7法または場所打ち杭の施工管理 鉛直度等が確認できる。 上関して仕様書に定められた事巧 「トレミー管をコンクリート内は 一砂、孔内水位の変動及び安定浴	こ2m以上入れて施工していることが確認 変を用いる場合の孔内の安定液濃度、比重 なが少なくなるよう配慮されている。	できる。	いる。	※上記項目に、該当があれば d 評価	が、検査職員が修補指示を 行った。 ※上記項目に、該当があればe 評価
		② 削除項目のある場 ③ 評価値 (%)	目」のうち、評価対象外の項目 合は削除後の評価項目数を母数 = () 評価数/() 太 価対象項目数が2項目以下の場	なとして、比率(%)計算の値で評価する。 対象評価項目数	判断基準			
	コンクリート 橋工事 (PC 及び RCを対象)	「関連基準、土オ ※ばらつきの判断「評価対象項目」一設計図書に基づくきる。□ コンクリート打設時の心□ コンクリート供託体が当	て工事施工管理基準、その他 行は、別紙-4参照。 コンクリートの配合試験及び試験練り 公要な供試体を採取し、強度・ス 街該現場の供試体であることが確	のが行われており、適切なコンクリートの規格(強. ランプ・空気量等が確認できる。 確認できる。	度・w/c・最大作	計材粒径・塩基総量等)が確認で	測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を 行い改善された。	e □ 監督職員が、契約書第18条第1項に基づく改造請求又は、同条第2項に基づく破壊検査を行った。 □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		リート等を含む) 型枠、支保工の取	り外し時のコンリー・強度を適正に一トで確認できる。 たは曲げ強度が試験値で確認っ シ鉄筋の保管管理が適正であるこ シ、作業員の技量確認を行っている 適正で、品質が確認できる。 むで、品質が確認できる。 むで、品質が確認できる。 むでといる。 と置し、鉄筋のかぶりを確保して とがりでしている。 地が適切に実施されている。 ロンクリート強度が最大圧縮応力度の	できる。 ことが確認できる。 いる。	(生力伝等、適切に作業) 判断基準	ばらつきで判断。 ばらつきで判断。 50%以下 80%以下 8	d 評価 能 ばらつきで	※上記場日に、該当かめればe 評価
		② 削除項目のある場 ③ 評価値 (%)	目」のうち、評価対象外の項目 合は削除後の評価項目数を母数 = () 評価数/ () ☆ 価対象項目数が2項目以下の場	なとして、比率(%)計算の値で評価する。 対象評価項目数	評 90%以上 75%以上 60%以上 60%未満	a a' 90%未満 a' b	b b b b c c c c c	

考査項目		a a' b	b' c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	塗装工事 [□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は、別紙−4参照。 [評価対象項目] □ 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む) □ ケレンが入念に実施されていることが確認できる。 □ 施工時の天候、気温及び湿度等の条件が整理・記録されている。 □ 塗料を使用前に撹拌し、容器底部に顔料沈殿がしていないことが確認できる。 □ 塗料を使用前に撹拌し、容器底部に顔料沈殿がしていないことが確認できる。 □ 塗料の空缶管理が、写真等で確実に確認できる。	<判断基準参照>	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 ※上記項目に、該当があれば d評価	□ 監督職員が、契約書第1 8条第1項第2項に基づく改造請求 又は、同条第2項に基づく破 壊検査を行った。 □ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であったた め、検査職員が修補指示を 行った。 ※上記項目に、該当があれば e 評価
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数/ () 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、c評価とする。	判断基準		
	トンネル工事	a a' b B B B B B B B B B B B B B B B B B B		測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を 行い改善された。	e □ 監督職員が、契約書第18条第1項に基づく改造請求又は、同条第2項に基づく改造請求又は、同条第2項に基づく破壊検査を行った。 □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 ※上記項目に、該当があればe評価
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%) = () 評価数/() 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、c評価とする。	判断基準	能 ばらつきで %超 判断不可能 b b b c c c c c	

(検 査 職 員)

考査項目		a	a '	b	b '	c	d	e
	シールド工事・ 推進工事	【関連基準、土木 ※ばらつきの判断【評価対象項目】□ 日々計測・管理を□ セグメントや推進□ 接合部が適切に施	:工事施工管理基準、その 「は、別紙-4参照。 ・行っており、それに基づいす 管が損傷しないよう配慮され にこされていることが確認でき	きる。	できる。	>	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で指 示を行い改善された。	8条第1項に基づく改造請求 又は、同条第2項に基づく破 壊検査を行った。 □ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であったた め、検査職員が修補指示を
		□ コンクリート供試	は時の必要な供試体を採取し、 な体が当該現場の供試体である。 が適切に施工されていること				※上記項目に、該当があれば	行った。 : ※上記項目に、該当があれば e
		① 当該「評価対象項目	∃」のうち、評価対象外の項	日は削除する.	判断基準	ばらつきで判断可 50%以下80%以下 80 a a'		評価
		② 削除項目のある場合③ 評価値(%) =④ なお、削除後の評価	合は削除後の評価項目数を母 = ()評価数/ () 西対象項目数が2項目以下の	数として、比率(%)計算の値で 対象評価項目数 場合は、c評価とする。	評価する。 評価 (値	%未満 a' b %未満 b b' b' c	b' b' c c c c	
	植栽工事	〔関連基準、土木 ※ばらつきの判断 〔評価対象項目〕	:工事施工管理基準、その作 には、別紙-4参照。	b 頁目の履行状況(評価値)から 也設計図書に定められた試験)	b' ら判断する。<判断基準参照)	c >	測定値が不適切であったた	e □ 監督職員が、契約書第18 条第1項に基づく改造請求又 は、同条第2項に基づく破壊検 査を行った。 □ 品質関係の測定方法又は測
		□ 活着管理が適切に□ 樹木等に損傷、は□ 樹木等の生育に害	『土壌試験(PH)を実施し施工に 行われている。 ちくずれ等がなく保護養生が のあるものは除去されている 『形その他必要な手入れが行れ	適切に行われている。 5。				記載のかいいたのは入れる人 定値が不適切であったため、検 査職員が修補指示を行った。
		□ 肥料が直接樹木の	根にふれないよう均一に施服	思されている。	判断基準	ばらつきで判断可		評価
		② 削除項目のある場 ③ 評価値 (%)	目」のうち、評価対象外の項合は削除後の評価項目数を号 = () 評価数/() 価対象項目数が2項目以下の	ł数として、比率(%)計算の値で 対象評価項目数	評価する。 評		9%超 判断不可能 b	
	防護柵(網)・ 標職・ 区画線等設置 工事	[関連基準、土木 ※ばらつきの判断 〔評価対象項目〕 □ 防護柵設置要綱、礼 □ ペル式(常温式)[工事施工管理基準、その作成、別紙-4参照。				測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を 一行い改善された。	e □ 監督職員が、契約書第18条第1項に基づく改造請求又 は、同条第2項に基づく破壊検 査を行った。 □ 品質関係の測定方法又は測 定値が不適切であったため、検 査職員が修補指示を行った。
					判断基準	ばらつきで判断可	d評価	、※上記項目に、該当があれば e 評価
		② 削除項目のある場合 ③ 評価値(%)=	目」のうち、評価対象外の項 合は削除後の評価項目数を長 = () 評価数/() 価対象項目数が2項目以下の	数として、比率(%)計算の値で 対象評価項目数	評価する。 がは、	50%以下80%以下 80 a a' %未満 a' b		

考査項目			a		a '	b			b '			С			d		е
3. 出来形及び 出来ばえ Ⅱ. 品 質	管路工事	· [] [] [] [] [] [] [] [] [] [関連基準、土木 ばらつきの判断 評価対象項目〕	工事施工件 4 所は、別紙ー4 植協、全株でを 協会作を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	里基準、その他参照。	ぎきる。 : が確認できる。	られた試験)		<判断者	基準参照>				は測 た 示 を		であった文書で指た。	□ 監督職員が、契約書第18条第1項に基づく改造請求 図を第1項に基づく改造請求 又は、同条第2項に基づく破 接検査を行った。 □ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であったた め、検査職員が修補指示を 行った。 ※上記項目に、該当があれば e 評価
	維持修繕工事	② 削 ③ 評 ④ な	西値(%) お、削除後の評 a	合は削除後の記 = () 評値 価対象項目数	評価項目数を母 価数/() が2項目以下の a '	数として、比率(*対象評価項目数 場合は、c評価と	:する。		評 価値 60 60	%以上 %以上90% %以上75% %未満	未満		Dきで判断F 80%以下 8 a' b b' c	0%超 b b' c	ばらつきで 判断不可能 b b' c c	学士 法 切 : 4	e □ 監督職員が、契約書第18
		「 ※ に 〔評 □ 横 □ 監 □ 監 ■ 監 ■ 1 に 数	関連基準、土木 ばらつきの判断 価対象項目〕 用する材料の品 造物職員の指案に を を を を は で を が と に と で と と と と と と と と と と と と と と と と	工事施工管理 行は、別紙-4 計質・形状等が 記をよく把握し 項に対して、 いて、迅速か	里基準、その作参照。 適切であり、カ 適切であり、カ で現地状況を動な対象 で現地状況に対応し 提言や修繕サイ	頁目の履行状に定めて、 直設計のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	かられた試験」 才料確認を適宜 「お造についての まできる。 こ、提案等を行っ 象項目」のう る場合は削除	・的確に行った。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	っているこ よど積極的 が確認でき を外の項目数	とが確認できに取り組んでる。	いること			測定人の行う	値が不適切で 監督職員が文 改善された。 記項目に、該	あったた 書で指示を	□ 監督職員が、
			記載項目の他に、 だし、評価対象		追加して評価す	④ なお、削除後	の評価対象項判断		日以下の場	合は、c評価 ばらつき 50%以下80° a a'	とする。 *で判断	, 1,0	ばらつきで 判断不可能 b b' c				

考査項目		a	a '	b	ь'	С	d	е
考査項目 3. 出来形及び 出来ばえ II. 品質	港湾築造工事 (渡渫、海岸築造 工事を含む)	□ 品質 (験結果のばらつきと評価対対 土木工事施工管理基準、その 削断は、別紙-4参照。 目) られている品質管理が実施さい が形状が設計図書等との施工して にの注意事項(仕様書等による にの注意事項(仕様を投入してい がしたで破損なたで破損なたで がレーンが連続したで破損なく正 でションパイルが連続した一様 がションの打込記せが書に定機 がションの打込記せが書に定機 がしている。 がしている。 にないよう置換材を投入してい が上のが連続した一様 がしている。 にないよう置換材を投入してい にないよう置換がと、仕様書に定め にないように にないと にないように にないないように にないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	象項目の履行状況(評価値)からの他設計図書に定められた試験〕れている。 確認ができ証明書が整備されているいることが確認できる。)が守られている。 ることが確認できる。 に施工され、記録により確認できる。に応形成され、記録により確認できるながな形状に施工され、記録により確認な品質の施工が確認できる。られている事項が確認できる。	- Name	>	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で指 示を行い改善された。	□ 監督職員が、契約書第 18条第1項に基づく改造
		□ 捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないよう堅固に施工され、記録により確認できる。 □ 裏込めが既設構造物及び防砂目地板の破損に注意して施工され、記録により確認できる。 □ 鋼材の数量照合がミルシート等(現物販品を含む)で確認されている。 □ 杭及び矢板に損傷及び補修痕がない。 □ 杭及び矢板の打止めの施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。 □ 控工の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。 □ ケーソン進水、仮置、曳航及び回航の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。 □ ケーソン 据付及び中詰の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。 □ コンクリートの現場養生が該当現場の供試体であることが確認できる。 □ コンクリートブロックの転地、仮置に際し、強度確認を行っている。 □ コンクリートブロックの板置は、転倒、崩壊等の恐れがない。 □ コンクリートブロック根付の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。 □ 付属工の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。 □ 溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。						
		② 削除項目のあ③ 評価値(%) = () 評価数/ (の評価対象項目数が2項目以 ばらつきで判断 50%以下80%以下 a a' 0 %未満 a' b	を母数として、比率(%)計算の値) 対象評価項目数 下の場合は、c評価とする。	で評価する。			

考査項目		a a' b	b' c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	フイルダム 工事	□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は、別紙−4参照。 [評価対象項目] □ 基礎処理施工要領書に示された規定に従い適切に実施されている。 □ 盛り立て要領書に示された規定に従い適切に実施されている。 □ 施工基面及び法面が平滑に仕上げられている。 □ 湧水が適切に処理されている。 □ 雨水による崩壊が起こらないように排水対策を実施している。 □ 気象条件を考慮した施工が確認できる。 □ 鉄筋の組立、継ぎ手部、かぶりは工事図面に示されたとおり施工している。 □ コンクリートの供試体が当該現地のものであることが確認できる。 □ 埋設計器が設置要領に従ってされており、正常な作動が確認できる。 □ 周辺地山の法面工は、設計図書に基づき適切に実施されている。	<判断基準参照>	は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	□ 監督職員が、契約書第18条第1項に基づく改造請求 2項に基づく改造請求 又は、同条第2項に基づく破 接検査を行った。 □ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であったた め、検査職員が修補指示を 行った。 ※上記項目に、該当があれば e 評価
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。	■ 90%以上 a a'	に ばらつきで 6超 判断不可能 b b ' b 'こ c cこ c	
	コンクリート ダム工事 -	a a' b	b' c <判断基準参照>	測定値が不適切であったた	e □ 監督職員が、契約書第18条第1項に基づく改造請求又は、同条第2項に基づく破壊検査を行った。 □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		□ スペーサーを適切に配置し鉄筋のかぶりを確保している。 □ 施工に先立ち配合試験を行いコンクリートの品質向上に取り組んでいる。 □ コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 □ 気象条件に適した運搬、打設、締め固めを行っている。 □ サ殊コンクリートの施工に当たって施工条件を遵守し実施している。 □ コンクリートの打ち継ぎ部の処理が仕様書等の規定に従い適切に実施されている。 □ ホッコン跡からの漏水がない。 □ 有害なクラックの発生がない。 □ コンクリートの打設方法(リフト差、リフト高)が確認できる。 □ コンクリートの打設方法(リフト差、リフト高)が確認できる。 □ コンクリートの現場養生は仕様書の規定に従って適切に実施されている。 □ 埋設計器が設置要領に従って設置されており、正常な作動が確認できる。 □ 周辺地山の法面工は、設計図書に基づき適切に実施されている。 □ その他付帯構造物は、設計図書に基づき適切に実施されている。		※上記項目に、該当があれば d評価	※上記項目に、該当があれば e 評価
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。	判断基準 ばらつきで判断可 50%以下80%以下 80 pr 90%以上 a a a 7 75%以上90%未満 a b	能 ばらつきで %超 判断不可能 b b b b b b b c b b c b c b c b c b c b	
		② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%) = ()評価数/ ()対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、c評価とする。	75%以上90%未満 a'b 60%以上75%未満 b b' 60%未満 b' c 60%未満 b' c	о о о о о о о о о о о о о о о о о о о	

考査項目		a	a '	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び 出来ばえ Ⅱ. 品 質	コンクリート 二次製品工事 (L型、BOX、 BL積、U字溝、 縁石等)	[関連基準、土2 ※ばらつきの判題 (評価対象項目]	こ仕上げられている。 良い。 条件により締め固めが実施され [、] が図面通り実施されていることだ	設計図書に定められた試験 でいる。 が確認できる。			は測定値が不適切であった	□ 監督職員が、契約書第1 8条第1項に基づく改造請求 又は、同条第2項に基づく破 壊検査を行った。 □ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であったた め、検査職員が修補指示を 行った。
		□ 二次製品の吊り記 継ぎ目処理が適性 ① 当該「評価対象項 創除項目のある項 ③ 評価値 (%) ④ なお、削除後の記 該当項目が90%以上該当項目が70%以上該当項目が60%以上 該当項目が60%以上	告物にきめ細やかな施工がうかな 込み、据付けの際に常に十分なえ 別に施工されている。 質目」のうち、評価対象外の項 場合は削除後の評価項目数を母き = () 評価数/() ラ 平価対象項目数が2項目以下のも ・・・・・・・・・。 80%未満 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	主意を払っていることが確認で 目は削除する。 数として、比率(%)計算の値 対象評価項目数	1		※上記項目に、該当があれば d 評価	※上記項目に、該当があれば e 評価
	区画整理工事	[関連基準、土2 ※ばらつきの判 [評価対象項目] □ 表土扱い土が適り 道路・水路・畦町 は造物周辺のから □ 法面に有害なクラ □ 排水路の深さ、4	半等の締め固めが適切に施工され り戻し、締め固めが適切に施工さ ラックや損傷部がない。 勾配等が適似に施工されている。 有害な石礫等がない。 く、又は、水路埋立箇所など沈っ さが確保されている。	設計図書に定められた試験 れている。 されている。			測定値が不適切であったた め、監督職員が文書で指示を 行い改善された。	e e
		 ② 削除項目のある場 ③ 評価値(%) ④ なお、削除後の診 該当項目が90%以上 該当項目が80%以上 該当項目が70%以上 該当項目が60%以上 	項目」のうち、評価対象外の項 場合は削除後の評価項目数を母 = () 評価数/ () ラ 平価対象項目数が2項目以下の対 ・・・・・・ a 90%未満・・・・・ a 80%未満・・・・・ b 70%以下・・・・・ b	数として、比率(%)計算の値 [~] 対象評価項目数	で評価する。			

考査項目		a a' b b'	С	d	e
3. 出来形及び 暗渠 出来ばえ II. 品 質	長排水工事 [□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ばらつきの判断は、別紙-4参照。 〔評価対象項目〕 □ 管路の接続が適正に施工されている。 □ 吸水渠、集水渠等の埋設深管理が適切に施工されている。 □ 軟弱地盤等で暗渠排水工の効果が阻害されるおそれがある箇所について、阻害防止の工夫が措置されている。 □ 被覆材が管路を中心に適切に施工されている。 □ 溝底部が凸凹蛇行のないよう施工されている。 □ 溝底部が凸凹蛇行のないよう施工されている。 □ 木閘及び集水渠部等の埋め戻しが入念にされている。		は測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で指 示を行い改善された。	□ 監督職員が、契約書第1 8条第1項に基づく改造請求 又は、同条第2項に基づく破 壊検査を行った。 □ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であったた め、検査職員が修補指示を 行った。
		 ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%) = ()評価数/()対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、c評価とする。 判断基準 ばらつきで判断可能 ばらつきで判断不可能 があるの必要 はないである。 対象アのののでで対しているのでで対している。 対象ののでで対しているのでで対している。 対象ののでは、c評価とする。 対象ののでは、c評価とする。 対象をでする。 対象をでする。 対象をでする。 対象をでする。 対象をは、c評価とする。 対象にはらいまする。 対象にはらいまする。 対象をはいるとする。 対象をはいるといる。 対象にはいるといるのではいるといるのではいるといるのではいる。 対象にはいるのではいるといるのではいるといるのではいるといるのではいるといるのではいるといるのではいるといるのではいるといるのではいるといるのではいるといるのではいるといるのではいるといるのではいるといるのではいるといるのではいるといるのではいるといるのではいるといるのではいるといるのではいるのではいるといるのではいるといるのではいるといるのではいるといるのではいるといるのではいるといるのではいるのではいるのではいるといるのではいるといるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのでは		d 評価	※上記項目に、該当があれば e 評価
3	(井工事	□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価値) から判断する。<判断基準参照> 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は、別紙−4参照。 [評価対象項目〕 □ 工事に先立ち地下水に対する地盤調査等の分析が入念になされている。 □ 掘削記録及び電気検層結果等が適切に管理されている。 □ 揚水試験が仕様書どおり適切に実施されている。 □ 八内の仕上げが仕様書どおり適切に実施されている。 □ 加申の孔壁保護が入念に施工されている。 □ フイルター材、埋め戻し等が入念に施工されている。 □ フィルター材、埋め戻し等が入念に施工されている。 □ フィング等挿入、接合作業等が適切に実施されている。		測定値が不適切であったた め、監督職員が文書で指示を 行い改善された。	e □ 監督職員が、契約書第18条第1項に基づく改造請求又は、同条第2項に基づく破壊検査を行った。□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 ※上記項目に、該当があればe評価
		 ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=()評価数/()対象評価項目数 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、c評価とする。 判断基準 ばらつきで判断可能 ばらつきで判断可能 ばらつきで判断不可能 りの%以下80%以下80%以下80%超 判断不可能 で 判断不可能 はらつきで 判断不可能 はらっきで 判断不可能 はらっきで 判断不可能 はらっきで 対します はらっきで 対します はらっきで 対します はらっきで 判断不可能 はらいきで 対します はらいきで 対します はらいきで 対します はらいきで 対します はらいきで 対します はらいきで 対します はらいます はら			

考査項目		a	a '	b	b '	c	d	е
3. 出来形及び 出来ばえ	建築工事 (新築、改築)	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	は測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で指	□ 監督職員が、契約書第1 8条第1項に基づく改造請求 又は、同条第2項に基づく破
Ⅱ.品 質		□ 材料の品質証明が施工の品質証明が施工の品質である場合において可視部分の写真 当該除価値、削除価値、削除価値、削除価値、削除値値、削りの割りのでは、 できる は に は できる は にも に できる は に できる は できる は に できる は に に できる は に に に できる は に に できる は に できる は に に に できる は に に に に に に に に に に に に に に に に に に	内容が、適切である。 て定めた管理項目、方法により、 バ適切である。 犬が、良好である。 ける品質確認のための写真記録/	目は削除する。 数として、比率(%)計算の値で 対象評価項目数	で評価する。		一示を行い改善された。	ス域に選っている。 「関係の測定方法又は で行った。 一部では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で
	解体工事	a	a '	b	b '	c	d	e
	ハエドナーチ	а	u	D	U	C	u	e
						■ c評価とする。		

(検 杳 職 員)

考査項目		a	a '	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び	設備工事共通	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の事項に該当しない	やや劣っている	劣っている
	設備工事共通	優れている 「評価対象項目」 」 仕様書に質なびいた。 「評価対象項目」 」 仕様料の品をは変していた。 」 材料品単本の品を出て、設計では、対していた。 」 機器の大力をは、対していた。 」 というでは、対していた。 」 は、対していた。 」 は、対していたいた。 」 は、対していたいた。 」 は、対していたいた。 」 は、対していたいた。 」 は、対していたいたいたいには、対していたいたいには、対していたいたいには、対していたいたいには、対していたいには、対していたいには、対していたいには、がは、対していたいには、対していたいには、対していたいには、対していたいには、対していたいには、対していたいには、対していたいには、対していたいには、対していたいには、対していたいには、対していたいには、がは、対していたいには、がは、がは、がは、がは、がは、がは、がは、がは、がは、がは、がは、がは、がは	bより優れている ている品質管理が実施されてい 状が設計図書等との適切性確認 及び形状が設計図書等との適切性確認 及び形状が設計図書等による)が 図書等との適切性確認ができ、 力を表が整備されている。 基準に基づきたれていめたが整備されていめがでかれ 関は行き及び暫集がいいるがを関いたがを見ができたがでありがであれている。 関は行きながな明に基づられれ 関は行きなび間隔に基づられれ 関は行きなび間隔にあれて 事項(共通仕仕様書)が守られれ 本書項(共通仕仕様書)が守られれ 本書項(共通面通り施工されている は方が高いている。 は方がにあれている。 は一は一は一は一は一は一は一は一は一は一は一は一は一は一は一は一は一は一は	やや優れている る。 ができ、証明書が整備されていができ、証明書が整備されていができ、証明書が整備されてい性確認ができ、証明書が整備さるといる。 正明書が整備されている。 なと配置されている。 なと配置されている。 いる。 いる。 いる。 いる。 いる。	c より優れている いる。 いる。	c 他の事項に該当しない	やや劣っている □ 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切で あったため、監督職員が 文書で指示を行い改善さ れた。	
		□ シーケンスに従い	比帯に動作した。					
		② 削除項目のある場 ③ 評価値 (%) ④ なお、削除後の割 該当項目が90%以上 該当項目が80%以上: 該当項目が70%以上: 該当項目が60%以上:	項目」のうち、評価対象外の項 合は削除後の評価項目数を母: = () 評価数/ () : F価対象項目数が2項目以下の: ・・・・・・・ a 90%未満・・・・・ a 80%未満 ・・・・ b 70%以下・・・・・ b	数として、比率(%)計算の値で 対象評価項目数	評価する。			

考査項目		a a' b b' c	d	е
3. 出来形及び	上記以外の工事	□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>		□ 監督職員が、契約書第1
出来ばえ		[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]		8条第1項に基づく改造請求
		※ばらつきの判断は、別紙-4参照。		又は、同条第2項に基づく破
		(評価対象項目)	示を行い改善された。	壊検査を行った。
Ⅱ.品 質		日理由		□ 品質関係の測定方法又は
н.ш 👳		□理由		測定値が不適切であったた
		□理由		め、検査職員が修補指示を
		□理由		行った。
		□理由		
			※上記項目に 該当があれば	※上記項目に、該当があれば e
		□理由		評価
		O ZEP	C H I IIM	H I IIM
		判断基準		
		<a>対象工事が、ばらつきによる評価が不適切な場合		
		例) 浚渫工、取壊し工		
		該当項目が90%以上・・・・・・・ a		
		該当項目が80%以上90%未満 ・・・・・・ a'		
		該当項目が70%以上80%未満 ・・・・・・ b		
		該当項目が60%以上70%以下 ・・・・・・ b'		
		該当項目が60%未満・・・・・・・・ c		
		※削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。		
		対象工事が、ばらつきによる評価が適切な場合		
		① 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。		
		② 評価値 (%) = () 評価数/ () 対象評価項目数		
		③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする		
		ばらつきで判断可能		
		50%以下 80% 以下 80% 超		
		0.0% PL		
		評 7.5.0(以 b.0.00/ +/# - ' b. b.'		

考查項目	工種		a	b	c	d
7旦7日	工 1里		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
出来形及び	コンクリート構造物工	-	□ コンクリート構造物の肌が良い。		該当5項目以上・・・a	
出来ばえ	砂防構造物工事		□ コンクリート構造物の通りが良い。		該当4項目・・・・b	
	海岸工事		□ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。		該当3項目・・・・c	
出来ばえ	トンネル工事	[□ クラックがない。		該当2項目以下・・・d	
		[□ 漏水がない。			
			□ 全体的な美観が良い。			
	土工事		コ 仕上げが良い。		該当4項目以上・・・a	
	(盛土・築堤工事等)	[□ 通りが良い。		該当3項目・・・・b	
		[□ 端部処理が良い。		該当2項目・・・・ c	
		[講造物へのすりつけ等が良い。		該当1項目以下・・・d	
		[□ 全体的な美観が良い。			
	切土工事	[] 規定された勾配が確保されている。		該当5項目以上・・・a	
		[□ 法面の浮き石除去等、表面が適切に施□	Iされている。	該当4項目・・・・b	
		[□ 法面勾配の変化部には干渉部等を設け、	、適切に施工されている。	該当3項目・・・・・c	
		[□ 施工面の木根等が確実に施工されている	る。	該当2項目以下・・・d	
		[□ 施工面には滞水防止等の処理が適切に行	行われている。		
		[□ 関係構造物等との取り合いが適切に行わ	われている。		
		[□ 残土等は適切に処理されている。			
	護岸・根固・水制工事	[□ 通りがよい。		該当4項目以上・・・a	
		[□ 材料のかみ合わせがよい、またはクラッ	ックがない。	該当3項目・・・・b	
		[□ 天端、端部の仕上げがよい。		該当2項目・・・・・c	
		[□ 既設構造物とのすりつけがよい。		該当1項目以下・・・d	
	鋼橋工事	[□ 表面に補修箇所がない。		該当4項目以上・・・a	
	211114	[□ 部材表面に傷、錆がない。		該当3項目・・・・b	
		[□ 溶接に均一性がある。		該当2項目・・・・c	
		[□ 塗装に均一性がある。		該当1項目以下・・・d	
			□ 全体的な美観が良い。			
	地すべり防止工事	[助山との取り合いが良い。		該当3項目以上・・・a	
	地方 的 工工事		□ 天端、端部の仕上げが良い。		該当 2 項目・・・・ b	
			□ 施工管理記録等から不可視部分の出来に	ばえの良さがうかがえる。	該当1項目・・・・・c	
			□ 全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・d	
	舗装工事		コ 舗装の平坦性が良い。		該当5項目以上・・・a	
	耐水工 ず		□ 構造物の通りが良い。		該当4項目・・・・b	
			□端部処理が良い。		該当3項目・・・・・c	
			□ 構造物へのすりつけ等が良い。		該当2項目以下・・・d	
			□ 雨水処理が良い。			
			□ 全体的な美観が良い。			
	壮		□ 通りが良い。		該当3項目以上・・・a	
	法面工事		□ 植生、吹付等の状態が均一である。		該当2項目・・・・b	
			□ 端部処理が良い。		該当1項目・・・・・c	
			□ 全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・d	
		L	ューエアリンス大阪ルンスV゚。		必当気日なし · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

考查項目	Т.	46	a	b	c	d
与宜识日		性	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
出来形及び	落石防止工事		□ 地山との取り合いが良い。		該当3項目以上・・・a	
出来ばえ			□ 天端、端部の仕上げが良い。		該当2項目・・・・b	
			□ 施工管理記録等から不可視部分の	出来ばえの良さがうかがえる。	該当1項目・・・・ c	
I. 出来ばえ			□ 全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・d	
	基礎工工事		□ 土工関係の仕上げが良い。		該当3項目以上・・・a	
	金にエエザ	こ合けの	□ 通りが良い。		該当2項目・・・・b	
	(地盤以及守る	(日日)	□ 端部、天端仕上げが良い。		該当1項目・・・・・c	
			□ 施工管理記録等から不可視部分の	出来ばえの良さがうかがえる。	該当項目なし・・・・d	
	コンクリート格	喬工事	□ コンクリート構造物の肌が良い。		該当6項目以上・・・a	
			□ コンクリート構造物の通りが良い。	0	該当4項目・・・・b	
			□ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。	0	該当3項目・・・・・c	
			□ 支承部の仕上げが良い。		該当2項目以下・・・d	
			□ クラックがない。			
			□漏水がない。			
			□ 全体的な美観が良い。			
	塗装工事		□ 塗装の均一性が良い。		該当4項目以上・・・a	
	(工場塗装を関	余く)	□ 細部まできめ細かな施工がされて	いる。	該当3項目・・・・b	
			□ 補修箇所がない。		該当2項目・・・・c	
			□ ケレンの施工状況が良好である。		該当1項目以下・・・d	
			□ 全体的な美観が良い。			
	植栽工事		□ 樹木の活着状況が良い。		該当3項目以上・・・a	
			□ 支柱の取り付けがきめ細かく施工	されている。	該当2項目・・・・b	
			□ 支柱の取り付けが堅固である。		該当1項目・・・・c	
			□ 植栽帯の全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・d	
	防護柵(網)コ	[事	□ 通りが良い。		該当5項目以上・・・a	
			□ 端部処理が良い。		該当4項目・・・・b	
			□ 部材表面に傷、錆がない。		該当3項目・・・・・c	
			□ 既設構造物等とのすりつけが良い。	0	該当2項目以下・・・d	
			□ きめ細やかな施工がなされている。	0		
			□ 全体的な美観が良い。			
	標識工事		□ 設置位置に配慮がある。		該当4項目以上・・・a	
			□ 標識の向き、角度、支柱の通りが	良い。	該当3項目・・・・b	
			□ 標識板、支柱に変色がない。		該当2項目・・・・c	
			□ 支柱基礎の埋め戻し等が入念に施	工されている。	該当1項目以下・・・d	
			□ 全体的な取り扱いがしやすい。			

考查項目	工種	a	b	С	d
5重視日	上 作	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
来形及び	区画線工事	□ 塗料の塗布が均一である。		該当4項目以上・・・a	
来ばえ		□ 視認性が良い。		該当3項目・・・・b	
		□ 接着状態が良い。		該当2項目・・・・c	
出来ばえ		□ 施工前の清掃が入念に実施されている	る。	該当1項目以下・・・d	
		□ 全体的な美観が良い。			
	シールド・推進工事	□ 構造物の通りが良い。		該当4項目以上・・・a	
		□ 内空面に補修の箇所がない。		該当3項目・・・・b	
		□ 内空面にクラック、傷がない。		該当2項目・・・・・c	
		□ 漏水がない。		該当1項目以下・・・d	
		□ 全体的な美観が良い。			
	維持修繕工事	□ 小構造物等にも細心の注意が払われ [*]	ている。	該当3項目以上・・・a	
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	□ きめ細かな施工がなされている。		該当2項目・・・・b	
		□ 既設構造物とのすりつけが良い。		該当1項目・・・・ c	
		□ 全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・d	
	港湾築造工事	□ 通りが良い。		該当4項目以上・・・a	
	(浚渫、海岸工事を含む)	□ 施工管理記録等から不可視部分の出	来ばえの良さがうかがえる。	該当3項目・・・・b	
	(汉体、14)十二年2日日)	□ 構造物の表面及び端部の仕上げが良い	()	該当2項目・・・・・c	
		□ きめ細やかな施工がなされている。		該当1項目以下・・・d	
		□ 全体的な美観が良い。			
	暗渠排水工事	□ 吸水渠及び排水渠等の通りが良い。		該当4項目以上・・・a	
		□ 田面復旧の状態が良い。		該当3項目・・・・b	
		□ 畦畔及び排水路溝畔復旧の状態が良い	() _o	該当2項目・・・・・c	
		□ 排水路の接続にきめ細やかな施工が7	なされている。	該当1項目以下・・・d	
		□ 全体的な美観が良い。			
	さく井工事	□ 孔口の保護が適切になされている。		該当3項目以上・・・a	
		□ 掘削スライム、泥水等の処理が適切り	こなされている。	該当2項目・・・・b	
		□ ケーシング、スクリーン等が適正に加	施工されている。	該当1項目・・・・・c	
		□ 全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・d	

***	一 任	a	b	С	(検 査 職 負 d
考査項目	工 種	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び	管路工事	□ 接合状況が良い。		該当4項目以上・・・a	
出来ばえ		□ 管内外面に補修痕等がない。		該当3項目・・・・b	
		□ 小構造物にも細心の注意が払われる	ている。	該当2項目・・・・・c	
Ⅲ. 出来ばえ		□ 管埋設位置が適正である。		該当1項目以下・・・d	
		□ 施工管理記録等から不可視部分のと	出来ばえの良さがうかがえる。		
	フィルダム工事	□ 土工の仕上げが良い。		該当8項目以上・・・a	
		□ 土工の通りが良い。		該当6項目・・・・b	
		□ 吹きつけ(植生、コンクリート等)	の状態が均一である。	該当4項目・・・・c	
		□ コンクリート構造物の肌が良い。		該当3項目・・・・d	
		□ コンクリート構造物の通りが良い。			
		□ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。			
		□ クラックがない。			
		□漏水がない。			
		□ 施設の通りが良い。(排水側溝、こ	フェンス等)		
		□ 全体的な美観が良い。			
	コンクリートダム工事	□ コンクリートの肌が良い。		該当8項目以上・・・a	
		□ コンクリート面の通りが良い。		該当 6 項目・・・・ b	
		□ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。		該当4項目・・・・・c	
		□ クラックがない。		該当2項目・・・・・d	
		□漏水がない。			
		□ 吹きつけ(植生、コンクリート等)	の状態が均一である。		
		□ 施設の通りが良い。(排水側溝、こ	フェンス等)		
		□ 堤体法面保護工の仕上げが良い。			
		□ 全体的な美観が良い。			
	コンクリート二次製品工事	: 二 土工の仕上げが良い。		該当6項目以上・・・a	
		□ 土工の通りが良い。		該当4項目・・・・b	
		□ 土工の構造物等へのすりつけが良い	' °	該当3項目・・・・・c	
		□ コンクリート構造物の通りが良い。		該当2項目・・・・・d	
		□ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。			
		□ 施設の通りが良い。			
		□ 全体的な美観が良い。			
	区画整理工事	□ 土工の仕上げが良い。		該当5項目以上・・・a	
		□ 土工の通りが良い。		該当4項目・・・・b	
		□ 小構造物等にきめ細やかな施工がた	rされている。	該当3項目・・・・・c	
		□ 道路の中央部を高くし、路面仕上に	げがなされている。	該当2項目・・・・・c	
		□ 仕上げ整地が良い。			
		□ 全体的な美観が良い。			

考査項目	I	種	a	b	С	d
3. 出来形及び			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
出来ばえ			□ きめ細かな施工がなされ取り合いの網	まりや端部まで仕上がりが良い。	該当4項目以上・・・a	
, ,,,,,,	建築工事		□ 関連工事との調整がなされ全体に調和	が良い仕上げである。	該当3項目・・・・b	
	(新築)		□ 使い勝手や使用者の安全に対する配慮	び適切である。	該当2項目・・・・c	
Ⅲ. 出来ばえ	(4)13(2)		□ 仕上がりの状態が良好で色調が均一で	色むら等が無い。	該当1項目以下・・・d	
ш. Щжи			□ 外構を含め全体的な美観が良好である			
			a	b	С	d
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
			□ きめ細かな施工がなされ取り合いの網		該当3項目以上・・・a	
	7±松工市		□ 既存部分や関連設備との調整がなされ		該当2項目・・・・b	
	建築工事(改築)		□ 使い勝手や使用者の安全に対する配慮		該当1項目・・・・・c	
	(以柴)		□ 仕上がりの状態が良好で色調が均一で		該当項目なし・・・・d	
				T2 244 7/1/4 °	Market & C	
						Τ ,
			a □ 整地の状況がよい。	b		d
	解体工事			つばさの白をおさればとフ		
			□ 施工管理記録等から不可視部分の出来	はえの良さかりがかえる。	該当2項目・・・・b	
			□ 廃棄物は適正に処理されている。	-1.7	該当1項目・・・・c	
			□ 既設部分との取り合いが適切に行われ	でいる。	該当項目なし・・・・d	

考査項目	工	種	a	b	С	d
3. 出来形及び			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
出来ばえ			□ 仕上がり状態が良く、全体的な美観に	優れている。		該当4項目以上・・・a
	機械設備工事			生体的に統制されており、運転操作性が優れて		該当3項目・・・・b
			□ 異常な振動、騒音がなく、動きもスム	ースで、総合的な機能、運転性能が優れてい	る。	該当2項目・・・・c
Ⅲ. 出来ばえ			□ 公共物としての安全、環境、維持管理	への配慮が良い。		該当1項目以下・・・d
			□ 溶接、塗装組立等細部に渡る配慮が良	·V`o		
			□ 構造物等にきめ細やかな施工がなされ			該当4項目以上・・・a
	電気設備及び		□ 公共物としての安全、環境、維持管理	!等への配慮が良い。		該当 3 項目 • • • • b
	その他設備工事	ŗ.	□ 構造物とのすり付けが良い。			該当2項目・・・・c
			□ 製作上の補修痕跡がない。			該当1項目以下・・・d
			□ 全体的な取り扱いがしやすい。			
			□ 理由:			該当4項目以上・・・a
	上記以外の工事	F	□ 理由:			該当3項目・・・・b
			□ 理由:			該当2項目・・・・c
			□ 理由:			該当1項目以下・・・d
			□ 理由:			
			□ 理由:			
			※ 該当工種からの考査事項で照査し、最大	**************************************		
			※ 該自工性からの考査事項で庶宜し、取入	、 名 住 切 日 は ら 切 日 と う な 。		